ふかまちのまど

第一九九号　一〇年十二月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三一三八八二

下組町内会だより

下組親睦旅行をふりかえって

下組町内会長　寺田　弘

親睦旅行（君田温泉）はあいにくの雨模様でしたが、十月二十四日九時すぎに送迎バス二台（マイクロバス、ワゴン車）に分乗し、車内ではそれぞれ世間話などしながらバスは十一時ごろ現地に到着し、早速に湯につかって窓ガラス越しに景色を眺めながら、それこそ四方山話に花が咲きました。

その後の宴会では、料理に舌鼓を打ち、カラオケに興じ、参加された方それぞれに気分転換をされたと思います。

帰りは三次ワイナリーへ立ち寄り、土産などを手に、何等事故もなく和やかな内に無事帰深致しました。

参加者それぞれに異常に暑かった夏を過ぎ、紅葉には少し早かったが車窓より周囲の山野を眺め、深まり行く秋を堪能された事と存じます。ご参加ありがとうございました。▲▲

お願い　犬の鳴き声にご注意を！

中組町内会長　麓　正徳

平素より町内会行事活動にご協力を頂き大変ありがとうございます。

一年が過ぎるのも早いもので、もう師走という月になりました。皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、町内の家庭で犬を飼われている方が多くあると思いますが、先般、犬の鳴き声について大変な苦情を聞き、筆をとりました。

夜中の犬の鳴き声に苦しんでおられる方がおられます。どうか犬を飼育されている皆様、隣、近所の方々と日々ほがらかに接しられるよう、犬の鳴き声に注意して下さいますようお願い申し上げます。▲▲

深小だより

第五回「夢を開こう」三原弁論大会　二位入賞（小学生の部）小林直樹君

三原市教育委員会主催により、十月三十日、本郷生涯学習センターにおいて、大会が開催されました。小学生の部では、市内三十一名が意見発表をしました。

そこで、小林直樹君の二位入賞を称え、同君の意見発表内容を紹介します。

「夢は鑑識」

深小六年　小林　直樹

「署長、タイヤこんから適応するず車種が分かります。そして、わかな塗料の破片から車の特定は可能です。」ぼくは、時々、こんな夢をみます。

みなさんは、「警察の鑑識」について知っていますか。「鑑識」という仕事は、犯人が残した小さな手がかりを分析して、一つ一つの情報を積み重ねて、確実な証拠を見つけて、真実の中の正義を追及する仕事なのです。つまり、世時々、犯罪に挑む警察の番組を見ることがあります。その中でも「鑑識」の果たす役割は大きく、例えば、ひき逃げ事件などで、道路、現場の鑑識班の人たちが、証拠を一斉にしてこうしたようにして、ぼくは、採取をしたり、科学技術による地道な作業と、分析から真実を追及する仕事に、心を惹かれています。

ぼくは、犯人の予想をしながら、推理小説をよく読みます。また、ぼくは、車が好きで街を走る車種、車式、排気量、特徴、中古価格、年式、大体分かります。一つのことに集中して、調べたり覚えたりすることは、楽しくて魅力を感じることです。ぼくにとってはこれは、仕事は、「特別な知識や技術が必要です。」「法医学」「解剖学」「分析化学」「科学」ぼくにとっては未知の世界です。

今、ぼくに一番必要なことは、しっかりした基礎学力を身につけることだと思っています。

「直樹の夢をかなえるためには、父さんは、ぼくに言いたくさん勉強しないといけないぞ。難しんもしないとないかもしれないよ。」父さんの言葉を励みに、この父さんの言葉を乗り越えて勉強を続け、試錬を乗り越えていきます。

「鑑識」という、夢を実現するために。▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www. jcat. ne. jp /~fuka/top. html

千川神社より　社殿修理のお礼と報告

責任役員　西本一二三

平素は千川神社の行事、維持管理にご協力をいただきありがとうございます。

本年、屋根の腐蝕により修理が必須となりました。それにともない、かねてより懸案だった、廊下、階段、雨戸等の修理を計画し、皆様方に大変なご無理をお願い致しました。

その額二百四十五万七千円という多額の御寄付をいただきました。この事に対し、神社役員一同心より感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

早速各方面の方々のご協力で念願の修復工事もできました。秋祭りには階段、廊下、欄干等、以前とは違ったしっかりした装いを見て頂いたのではないでしょうか？

その修理費総額二百四十五万六千七十五円となりました。残額九百二十五円は一般会計に繰り入れさせていただきました。

簡単ですが、社殿修理のお礼と報告とさせていただきます。▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

野風過ぎさっきの花は返り咲く
一輪なれど狭庭（さにわ）彩（いろど）り

日毎伸ぶ送電塔は輝きて
晩秋の空青き増しけり

妻は言う汁吸う孫の肩叩き
早（は）よ嫁もらい婆（ばあ）に楽をと

▲▲

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の子どもは
○午後四時頃　下校します。
※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。
○あいさつ、声かけをしましょう。

深町各種団体十二月行事予定

◆小学校・幼稚園
▼クラブ活動　一日
▼子ども国際教室・PTA役員会　三日
▼誕生会㊋　十日
▼学区児童会　十三日
▼読み語りの会　十四日
▼放課後子ども教室　十五日
▼ぴよぴよハウス㊋　十七日
▼終業式・個人懇談　二十八日

◆如水館中学・高校
▼期末試験（高校）　一～三日
▼中二学習旅行　一～六日
▼献血（高校）　十四日
▼終業式　十八日

歩く会にご参加を

健康づくり推進員　高崎修

行先　木ノ庄畑ぶどう園周遊
月日　十二月七日（火）
行程
八時　上組公民館発（車）
八時四十分　ぶどう園周遊開始
十一時　周遊終了
十二時　深町帰着予定（車）

▲▲

展望席

忘年会・・・サラリーマン生活を終えて数年、私には縁遠いものになりました。忘年会は、その年の苦しかったこと、嫌なこと等を忘れ、心のリフレッシュとしても行われると思います。一年を振り返ってみると、楽しかったこと、嬉しかったことも沢山あるのに、苦しかったことや嫌なことが心の中に多く残っているような気がします。

嫌なこと・恨み・つらみを何時までも忘れずにいると最悪の場合は、イスラエル・パレスチナ戦争のような復讐の連鎖に陥ることにもなりかねません。

嫌なことは忘れたいものですが、忘れてはいけないこともあります。先月、本紙の「深小だより」で、山本校長先生が「徳川家康が自分の大失敗を忘れないように、その失敗した姿を家来に命じて絵に描かせて自らの戒めにした」との諭旨のことが書かれていました。

十二月で最も忘れてはいけない嫌なことは、昭和十六年十二月八日、太平洋戦争に突入した真珠湾攻撃。その後、日本は悲惨な敗戦を迎えました。この真珠湾攻撃を反省と戒めとして、決して忘れることなく平和な世界をつくらなければなりません。

嫌な事でも、人間性を高める事や平和の礎となる事は忘れずに。それ以外は全て忘れて、心も脳内もスッキリと、「困ったことは起こらない、すべて良くなる、いやなことは思いださない（浜松医科大学名誉教授・高田明和さんの言葉）」、そんな気持ちで新年を迎えたいと思います。

第二中学校だより

総合表現学習「ミュージカル創作活動」を通して学んだこと、分かったこと

和太鼓で力強さと明るさを表現

第二中学一年　高橋茉里花

ミュージカルの照明がすばらしかった。舞台演技の音響や場面の転換がとてもよかった。人物の表情や動きが、とてもよかった。ダンスの振付けが、とてもよかった。人物の表情や動きが、とてもよかった。ダンスの振付けが、とてもよかった。

ミュージカルの例では、